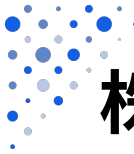




株式会社ハイブリッドワンの 設立に関する補足資料



オフィス開発事業を承継する新設子会社

会社概要

名称	株式会社ハイブリッドワン
所在地	東京都中野区本町 3-31-11 Daiwa中野坂上ビル 6F
代表者	代表取締役 吉迫 寿
事業内容	オフィス開発事業 ・ 品質セキュリティサービス ・ AI駆動開発サービス ・ 伴走型推進サービス
設立	2026年10月1日（予定） 当社100%子会社

ブランディング

Hybrid One

VISION
New View With You

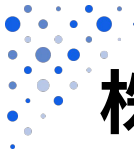
PHILOSOPHY
国境、国籍、人種、性別、年齢、組織を超えて
一つのチームとなり、顧客事業への貢献および社会への貢献を行う。

代表者



代表取締役
吉迫 寿

経歴
日本と中国でCTO・業務コンサルタント、
B2C事業会社の副社長を歴任。
2014年 ベトナムオフィス開発事業に従事
2019年 当社ベトナム子会社 Vice President
2025年 同社 General Director（現任）



AIは急伸するが、DX市場のニーズは活発 国家成長戦略の重点投資が追い風に

市場は「AIに代替される領域」と「AIに代替されにくい領域」に二極化。

日本の国家成長戦略（経済安全保障・GX・DX・半導体等）が、代替されにくい領域の需要を後押しする。

AIに代替されやすい領域

定型・汎用の開発はコモディティ化が加速

単純なコーディングやテスト、業務システム・アプリケーションの開発など、定型化されやすい開発やタスクはAIによって代替される

→ 単価下落・低利益率化のリスク



AIに代替されにくい領域 — 主戦場

セキュリティ・基幹系・国策産業への需要は継続

監査や脆弱性診断などのセキュリティ領域、社会インフラ・公共・金融など高い専門性と信頼性、明確な責任の所在が求められる領域は、AIの台頭後も専門家の価値は高まり続ける。

→ 高付加価値・継続取引を獲得

AIに代替されにくい4つの重点領域の開拓を図る

AIに代替されにくい4つの重点領域に経営資源を集中し、継続取引 × 高単価 の事業構造を築く。

01 セキュリティ

サイバー攻撃の高度化
経済安全保障・監査規制の強化

- 金融・重要インフラ事業者
- SaaS / IT ベンダー
- 規制対応が必須の事業会社

02 インフラ

クラウド移行・ゼロトラスト
老朽システムの刷新需要

- 大手事業会社の情報システム部
- 通信・エネルギー事業者
- Sler

03 公共・国策産業

デジタル庁施策・GX・DX投資
半導体・防衛など国策投資

- 中央省庁・自治体
- 独立行政法人・研究機関
- 国策プロジェクト参画企業

04 基幹システム

レガシー刷新・2027年問題
基盤更改需要

- 大手製造業・流通業の基幹刷新
- 金融機関の勘定系
- 老朽 ERP のリプレイス案件